

熊本地震・東日本大震災・おら<sup>ま</sup>いの地域の元気興し

支え合い

# S-1 グランプリ 第4回いがす大賞

地方創生・新しい総合事業 大見本市



## 2017年2月26日(日)

会場 **せんだいメディアテーク 1階**  
**「オープンスクエア」**

主催 **「S-1グランプリ 第4回いがす大賞」 実行委員会**

特定非営利活動法人つどい、特定非営利活動法人雲母倶楽部、一般社団法人パーソナルサポートセンター、宮城県サポートセンター支援事務所、特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター、熊本地震・共同支援ネットワーク、特定非営利活動法人Jin

もくじ

「S-1グランプリ いがす大賞」とは..... 2	出場者紹介..... 6
審査委員と審査基準について..... 3	その他の応募者紹介..... 10
これまでの「S-1グランプリ いがす大賞」... 4	

# 「S-1グランプリ いがす大賞」とは

## 趣旨等の説明

東日本大震災被災地域の復興をあと押しする住民活動やつながりなど、地域・人を想う熱い気持ちのこもった支え合い活動を発表するコンテストが、この「S-1グランプリ いがす大賞」です。宮城県を中心とする東北地方の方言で、「いいね」「了解」という意味の「いがす」に、「イカす」「活かす」という意味合いをあわせもちます。出場者や観客の皆さんが、学び合い、称え合い、交流し、〈それぞれの取り組みが、より魅力的なものになるためのヒントを得ること〉、そして〈各地域の活動が、より多くの地域に広まること〉を目的としています。

また、特に今回は、2016年4月の熊本地震で被災された方々を応援させていただくこと、そしてお互いに学び合うことを大きな目標として、熊本地震の被災地域にも広く募集しました。

活動の内容や発表のパフォーマンスが特に「いがす」出場者に、大賞（賞金10万円+副賞）、それに次ぐものに準大賞（賞金3万円+副賞）を授与します。また、東日本大震災の被災地域以外の支え合い活動のなかから、東北などの被災地域にも大いに活かせるものに活動提案賞（賞金3万円+副賞）を贈ります。

さて、今回、大賞に輝くのは、どのような活動・発表でしょうか？

とくにご覧ください！



思い思いに「いがす」パフォーマンスを披露！



「S-1グランプリ いがす大賞」のラストは、出場者の皆さんで集合写真！

## タイムスケジュール

時刻	内容
13:00	開場
13:30	開会式
13:50	第1部 ①NPO法人 総合型りくぜんたかた(岩手県陸前高田市) ②新町茶話会サロン(宮城県川崎町) ③みんなの家@ふくしま(福島県福島市) ④新おおつち漁協女性部(岩手県大槌町)
14:30	休憩
14:40	第2部 ⑤人形劇団 あんど娘(岩手県大槌町) ⑥益城だいすきプロジェクト・きまに(熊本県益城町) ⑦ちびぞうくらぶ(宮城県岩沼市)
15:20	休憩
15:30	第3部 ⑧TAKE1060プロジェクト実行委員会(宮城県丸森町) ⑨トントントンカラリン隣り組活動隊(香川県丸亀市) ⑩サロン茶屋(福島県西会津町) ⑪気仙沼はまらいんや会(宮城県仙台市)
16:10	休憩/審査会
16:30	表彰式/閉会式
16:45 ~17:15	交流タイム



司会  
熊谷 智美 (Something 代表)  
川村 博 (特定非営利活動法人 Jin 理事長)

# 審査委員と審査基準について

## 審査委員長ごあいさつ



### 大坂 純

特定非営利活動法人雲母倶楽部 理事長  
仙台白百合女子大学 教授

「S-1グランプリ いがす大賞」は、皆さまのご協力のもと、第4回目を迎えることができました。震災後、さまざまな地域で培われた文化や伝統をもとにした活動が、地域の課題を跳ね返す力になっています。

本日は11組の団体に取り組みをご披露いただきます。前回に勝るとも劣らない、ワクワクするたくさんの活動のエントリーがあり、1月に開いた予選審査委員会では、楽しいながらも選ぶことに苦労いたしました。惜しくも最終選考への進出を逃した方も、活動をさらに進め、ぜひ来年もご応募くださいますようお願いいたします。

また、2016年4月に発生した熊本地震の被災地域にも広く募集し、熊本県から1組が本選に出場していただきます。東日本大震災の被災地域で暮らす私たちも、ともに学び合いながら前へ進まなければなりません。

さあ！ご来場の皆さまとともに楽しみながら、「みんなが自分らしく暮らせる地域づくり」に向け、その一歩を踏み出しましょう！

## 審査委員



### 玄田 有史

東京大学社会科学研究所 教授  
希望学プロジェクトリーダー



### 橋本 由利子

特定非営利活動法人  
コーヒータイム 理事長



### 横山 英子

(株)横山芳夫建築設計監理事務所  
代表取締役社長



### 酒井 保

ご近所福祉クリエイション主宰  
ご近所福祉クリエイター

## 特別審査委員

特別審査員としてむすび丸(宮城県観光PR担当課長)もやってきます！

### 堂本 暁子

男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表/前千葉県知事

「私はいがす大賞が大好きです！  
皆さんの活動を応援しています！」



赤いマフラーを身に付け、マイクで話す堂本暁子特別審査委員 (S-1グランプリ 第2回いがす大賞の表彰式)



### 博多 和宏

情熱家  
吹上ワンダーマップ実行委員会委員長(鹿児島県日置市)

鹿児島県日置市の吹上町で「吹上ワンダーマップ」というイベントをとおして地域おこしに活躍。「第1回いがす大賞」では総合演出を務めました。

全国から「いがす」取り組みが仙台に集結する日がやってきました！今年には11の団体がプレゼンテーションを行うと伺っております。熊本からの参加団体もあるとのこと、同じ九州人として応援に駆けつけたい気持ちは強かったのですが、現在私自身が鹿児島県日置市吹上町にて「いがす」取り組みの真っ最中でして伺うことができません。

しかし、自身のプロジェクトをもっともっと「いがす」ものにし、その情熱が仙台まで届けることができれば、距離は離れていても同じ「いがす」仲間としてこの国を盛り上げていけると考えています。

S-1グランプリ第4回いがす大賞が大いに盛り上がることを確信しております！是非、参加者・ご来場の皆様・関係者の皆様全員で「いがす空間」を創造してください！そして、そのエネルギーを外にも放ち「いがす世界」を一緒に創造していきましょう！

## 審査基準

- おらほ度** 自分らしさ、やりたいこと、思いが前面に出ている
  - おもせ度** 内容がとにかくおもしろい
  - のさる度** 誰でも気軽に参加でき、いきおいがある
  - おがる度** 今後の成長に期待できる
  - いがす度** これぞいがす！直感に訴えかけるものがある
- 活動の内容(6割)と発表のパフォーマンス(4割)から総合的に評価します。観客の皆さんも出場者の発表を見て、聞いて、「いがす!」と思ったら「いがすうちわ」を振ってエールを送ってください。客席の皆さんの盛り上がりも審査に反映されます。



# これまでの「S-1グランプリいがす大賞」

## これまでの「S-1グランプリいがす大賞」について

東日本大震災発生後に地域で生まれた住民活動やつながりなどを発表していただくこと、2013年12月に「第1回 いがす大賞」を宮城県仙台市で開催。2014年度の第2回から、開催目的を明確化するため「S-1グランプリ」と冠しています。

今年度で本大賞は開催4回目を迎え、これまで全国21都府県から、延べ200件近いご応募をいただきました。毎回、本選出場者を決める予選会が難航するほど、ご応募いただいた取り組みは魅力的なものばかり。

震災の復興支援や、自治会・町内会活動、伝統行事、まちおこし、コミュニティビジネス、趣味活動、お茶会など、さまざまなかたちの「いがす」活動をお寄せいただいています。発表も、画像や動画をスクリーンに投影したり、ふだん取り組んでいる歌や楽器演奏、踊り、手づくりの品を披露したり、寸劇などでふだんの活動の様子を実演したり、五感で楽しめる多彩なパフォーマンスばかり。それも、このコンテストの「いがす」なポイントのひとつです。

## 都道府県別 応募総数ランキング

順位	都道府県	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
1位	宮城県	44	15	9	11	79
2位	岩手県	17	10	9	7	43
3位	福島県	17	3	6	3	29
4位	東京都	2		1	1	4
	大阪府	1	1	1	1	4
	兵庫県	4				4
	香川県	2	1		1	4
8位	静岡県	2	1			3
9位	京都府	2				2
	広島県	1		1		2
	福岡県	2				2
13位	熊本県	1			1	2
	山形県			1		1
	栃木県		1			1
	埼玉県	1				1
	福井県	1				1
	愛知県	1				1
	三重県	1				1
	島根県	1				1
	山口県	1				1
	長崎県	1				1
合計		102	32	28	25	187

### 第1回 準大賞 受賞

**釜石あの日あの時甚句伝え隊**  
岩手県釜石市

### 第1回 特別賞 受賞

**高橋 久子** 宮城県名取市

### 第1回 活動提案賞 受賞

**ボランティア「ぐるーぷ なか」**  
兵庫県宝塚市

### 第1回 大賞 受賞

**二本松市  
建設技術学院跡地  
応急仮設住宅自治会**  
福島県二本松市

民謡などのさまざまなサークル活動を展開し、入居者同士の交流を育み、周辺地域の住民とも親睦を深めています。仮設住宅への支援者や地域住民に、料理のふるまいやダンスの披露で恩返しにも励んでいます。



### 第2回 準大賞 受賞

**北限の茶を守る気仙茶の会**  
岩手県陸前高田市

### 第2回 大賞 受賞

**大平北部  
ネットワーク**  
福島県二本松市

農業従事者の高齢化と後継者不足を受けて、農道・用水路などを整備。休耕田で地元小学生と稲作をし、収穫祭を開いたりしてきました。東日本大震災で継続が危ぶまれましたが、福島県浪江町から移り住んできた人たちと協力し、苦楽を分かち合いながらにぎやかに活動しています。



### 第3回 準大賞 受賞

**ラジオ体操&歩こう会**  
福島県郡山市

### 第3回 奨励賞 受賞

**特定非営利活動法人ベビースマイル石巻**  
宮城県石巻市

### 第3回 大賞 受賞

**冬の華わらびの会**  
岩手県陸前高田市

約20世帯の限界集落へ、震災後に約40世帯が自主再建し、高齢の女性が気軽に語り合える集い場として発足した陶芸サークルです。月2回陶工房に集っては、作陶とお茶飲み・歓談を楽しみながら、もとの地域住民と転入者が明るく交流を重ねています。



### 第3回 活動提案賞 受賞

**第三地区サロン きじま**  
山形県山形市

パーソナルサポートセンターは、  
仕事や生活上での悩みを抱えた人たちに  
伴走型の支援を行い、  
就労と生活再建までの手助けを  
していきたいと考えています。

- 生活支援事業** 仙台市内のプレハブ仮設住宅等で暮らしている方々の見守りや生活再建支援を行っています。また、生活に困っている方の悩みに対して、ワンストップで相談対応いたします。
- 就労支援事業** 仕事などさまざまな悩みについて、問題を整理しながら、一緒に改善・解決の方法を考えます。また、企業と連携しながら、就労の場の確保を目指します。
- 調査事業** 暮らしのセーフティネットについて、調査・提言を行います。

お問い合わせ 一般社団法人 パーソナルサポートセンター <http://www.personal-support.org/>  
〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町 6-6 シャンポール青葉 2階 tel:022-399-9662 fax:022-224-1621



S-1グランプリ  
第4回  
いがす  
大賞

# 出場者紹介 1

出前教室「玉入れタイムレース」で笑顔を!

## NPO法人 総合型りくぜんたかた

岩手県陸前高田市

仮設住宅で暮らす人や商店のお客さんなどに呼びかけ、参加者を募り、駐車場などで「玉入れタイムレース」を実施! 身体を動かしながら、ご近所同士や知らない人同士でも、心をひとつに楽しめる玉入れが交流と笑顔をつくります。参加しても、観戦してもアツくなれるこのレース、全国各地での実施をめざします!



岩手

母ちゃんたちは、町の元気の源です!

## 新おおつち漁協女性部

岩手県大槌町

漁家の女性たちの集まりです。まち・漁業・自分たちを元気にしたい! 震災の御礼をしたい! との想いで復興支援イベントや大学祭などで大鍋の炊き出しを行ってきました。地域の若い人と一緒につくることで、料理の段取りや工夫も伝えています。オリジナルわかめなど自分たちのブランドを物産展や地域産直への出店もしています。



岩手

おらほの元気サロン

## 新町茶話会サロン

宮城県川崎町

ご近所に一人暮らしの方が多く、援助したいと始めたサロンです。毎月1回、食べ物を持ち寄ってのお茶飲みや軽体操、脳トレ、健康講話といった活動を行ってきました。「みんなでいると楽しい」と20人以上が参加されています。今後も一人ひとりの個性を伸ばし、「年だから」なんて言葉に負けない、はつらつとした地域性を活かして、ご近所と密着した援助に!



宮城

よみがえるふるさとの情景

## 人形劇団あんど娘

岩手県大槌町

大槌町の民話を掘り起こし、「ふるりの情景」を人形劇として演じています。1994年に始まった活動は、途中震災の影響で中断も、地域の活性化を目指してみんなの力をあわせて再開し、現在は21人の会員で活動中。子どもたちとのふれあいや、高齢者との交流を主な目的として、地域の交流会や老人クラブ、養護施設などで手づくりの人形劇を披露、好評を博しています。



岩手

ふくしまの子どもから若者、お年寄りまでのコミュニティを紡ぎなおす場! みんなの家@ふくしま

## みんなの家@ふくしま

福島県福島市

震災後に県外避難していた母親たちが、もとの地域に戻ってから再び充実した暮らしを送れるよう、交流・情報交換できる「ままカフェ」を毎月県内5か所で開催。その延長で設けた常設拠点「みんなの家」を中心に、周辺の地域住民など、老若男女のふれあいが増えています。2017年1月には、さらに「みんなの家セカンド」を開設!



福島

主役はわたしたち 避難所におけるコミュニティの形成

## 益城だいすきプロジェクト・きままに

熊本県益城町

熊本地震により、多様な出身地の被災者が集まった益城中央小学校避難所。直後より被災者自らが動き、互いに顔の見える関係づくりと、「できる人が、できることをする」雰囲気づくりで、4か月間避難所は大きなひとつの家族になりました。行政やボランティアに頼らない運営ノウハウを、仮設住宅生活にも活かしていきたい!



熊本



S-1グランプリ  
第4回  
いがす  
大賞

## 出場者紹介 2

出逢う・つながる・ともに育ち合う ～共育ち・共育で～

### ちびぞうくらぶ

宮城県岩沼市

東日本大震災後、乳幼児親子の孤立化を防ぎ、同世代の交流を深めるサークルとして発足。現在は親子約30組が参加し、高齢者や障がいのある人と積極的に交流しながら、仲間として育ち合う・認め合う・支え合う活動を目指しています。本選ではみんなで舞台上がり、普段行っている歌やリズム体操で会場を笑顔にしたい！



宮城

顔だせ 声だせ 笑いだせ「TAKE 1060 in 丸森」

### TAKE 1060 プロジェクト 実行委員会

宮城県丸森町

毎年8月、地元の竹を使った2000本の灯籠にあたたかく優しい火を灯し、ステージ演奏などを楽しみながら、約800人がともに過ごす一夜は、生きる勇気や活力を養います。開催準備では、地域の高齢者に竹の伐採を依頼し、1本300円で300本ほどを買い取るなど、住民の収入につながる手仕事の創出や竹林の保全にもなっています。



宮城

マイセルフ居酒屋と楽しさの連続追求

### トントントンカラリン隣り組活動隊

香川県丸亀市

自治会館で開く居酒屋。週2回の活動日以外も出入り自由。夜は灯り、昼は掲げた黄色い旗を目印に人が集まります。お酒やおつまみを持ち寄り、カラオケやお話を楽しみます。自主防災には隣近所の仲良しがたいせつという思いから、交流の場として開設。次々に楽しいことが連続して起こっていく、そんなきっかけに！



香川

空き家でつながりを深める

### サロン茶屋

福島県西会津町

40世帯、高齢化率50%超えの集落で、頭の体操・身体の体操・心の栄養のためのサロンとして、毎週約20人が棒体操や古典文学、お茶飲みなどを楽しみます。家主がふだん遠くに住んでいることで空き家に近い状態となっている民家を借りて活動。場所代や光熱費の代わりに、参加者が草取り、雪かき、大掃除をしてお家を守ります。



福島

気仙沼はまらいんや会のつながりによるコミュニティの推進と高齢者の孤立防止・支え合い活動

### 気仙沼はまらいんや会

宮城県仙台市

宮城県気仙沼市で被災し、今は仙台市周辺に移り住んでいる約100世帯が、交流会や広報紙などをとおして交流しています。気仙沼市社協主催の被災者交流会をきっかけに、2015年10月に発足。地区ごとに世話人を配置し、安否確認や見守り活動に取り組むなど、知らない土地での生活に安心感とネットワークを提供中。



宮城

## あおば脳神経外科

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 2-11-19 仙南ビル 1・2F  
TEL **022-215-8818** FAX **022-215-8817**  
<http://www.myclinic.ne.jp/aobanouge/pc/doctor.html>

# その他の応募者紹介

惜しくも本選出場とならなかった14件の応募も、「いがす」取り組みばかりです。残念ながら、ご応募いただいたすべての活動を会場で発表いただくことはできませんが、地域や人に対する熱い想いは、出場者の皆さんにも決して劣りません。(次回「S-1グランプリ 第5回いがす大賞」の大賞受賞者は、このなかにいるかも!?)  
これらの活動から参考にすべき点もたくさんありますし、今後のさらなる進展に期待が高まります!

## まちへの愛を伝承しま賞

**陸前高田昔がたりの会 岩手県陸前高田市**  
「津波でまちが被災しても、ゼロからのまちづくりじゃない」「歴史や町並み、あの地での営みは私たちの心のなかに」。毎月まちの人たちを集め、20~90歳代の30~50人ほどで、心のなかの陸前高田市を後世に伝承しようと語り合い、記録・発信しています。

## 絆が奏でるハーモニー賞

**大槌童謡を歌う会 岩手県大槌町**  
心のふるさとと言える童謡を1990年から約30人で歌い続け、震災で会員が散り散りになったことで一時は活動を中断しましたが、3か月後に再開。歌うことで、震災で犠牲になった仲間の遺志を継ぎながら、生きている証と元気を取り戻し、明るく絆を深めています。

## 自然と人と寄り添う会賞

**やば野歩の会 岩手県大槌町**  
野歩の会は、退職後の男性の集まりです。毎回5、6人で山を歩いて、春は山菜採り、秋はきのこ採りなど、四季折々の自然を味わっています。草刈りなどの環境整備を行い、自然のなかで学ぶ知恵や生きる力を振り返り、語り合う「作戦会議」の場も設けています。

## 味わい深い地域づくりで賞

**大槌ラーメン研究会 岩手県大槌町**  
大槌町の特産である鮭節と鮭の中骨を使ったスープのラーメンを開発。ラーメン店や食材製造業者への視察研修と試作を重ね、試験営業にたどり着きました。地域を売り込むための新たな商品が生まれたと自負します。人を呼び込み、町のにぎわいづくりも目指して!

## スポーツが紡ぎ続ける絆賞

**大畑浜グラウンドゴルフ愛好会 宮城県亘理町**  
10年ほど前から、昔馴染みを中心にした男女32人が、週2回集まってグラウンドゴルフを楽しんでいます。津波で被災し活動場所を失っても、自分たちでグラウンドを整地して活動を継続。季節ごとの食事会や旅行にも出かけ、はつらつとした毎日を過ごしています。

## 唄が架ける、故郷への心の橋賞

**なでしこの会有志 宮城県女川町**  
女川町の離島である出島は、震災で養殖業の被害とともに人口が流出。「島の姿を次世代に伝えたい」、「唄を聞くと島のことが思い出されるように」との想いで、「女川音頭」のメロディを借り、歌詞に島の自然や行事を盛り込んだ「出島音頭」をつくりました。

## 楽しく生活向上実践賞

**東松島市地域包括支援センター 宮城県東松島市**  
簡単な筋力トレーニングや単語の記憶、指の体操といった活動を行い、もの忘れや認知症に関するミニ講座も実施。活動内容について、その根拠、効果も伝えて日常生活の質を高める意識づけをしています。約20人の参加者と、とにかく楽しく活動しています!

## 母なる海の手仕事賞

**有限会社 コンテナおおあみ 宮城県登米市**  
浜で育ち、暮らしてきた23人の主婦たちが、海の幸などをモチーフにしたアクリルたわしを編んで販売。手仕事に打ち込みながら、メンバー同士で会話を楽しんだり、作品の売り上げからは一人ひとりに工賃も支払われ、喜びもひとしおです。

## 介護予防で希望の虹賞

**多賀城市多賀モリ会 宮城県多賀城市**  
「介護予防サポーター養成講座」の受講者で結成。「介護予防は楽しい!」と感じ、近所の人々にもこの気持ちを分けたいと思い、会を始めました。ご当地体操である多賀城元気モリモリ体操や、ストレッチ、お茶飲みを行う、地域の拠り所となっています。

## 未来への期待賞

**いっぽく処 宮城県仙台市**  
仙台市泉区向陽台団地ができて40年。活躍した先輩方に一服していただきたい気持ちで、いっぽく処を開設。読書、囲碁、手芸、カラオケなど毎回約30人の住民が集まって、自由な時間を過ごしています。男性も参加しやすいように、畑仕事や花壇のお世話もします。

## 集落の伝統・生活を磨く賞

**大内宿 福島県下郷町**  
消えゆくかやぶき屋根を修復・保存している49世帯、高齢化率約36%の集落。年間120万人が訪れる有名観光地となり、地域内で雇用を生むようになりました。景観・環境や伝統行事を守り、引き継ぐなかで、集落内の異世代交流が進み、一層活気づいています。

## 歌で地域愛を高めた賞

**特定非営利活動法人 東北岩手応援チャンネル 東京都世田谷区**  
津波で全資料が流失した岩手県田野畑村の愛唱歌を保存する事業から、復興地のコミュニティ再生支援として、統廃合で無くなった小学校の校歌を地元住民と協力し合いCD化。民俗芸能の映像収録も含めた「芸能祭り音楽会」を村と開き、未来に向けた村づくりのお手伝いもしています。

## 想いをシェアする場所で賞

**茶山台としゃかん 大阪府堺市**  
集会所を活用して団地の再活性化を図る目的で開設。本棚づくりからはじめ、本を募集して、図書の貸し出しをスタート。みんなが集まるようになり、「0円マーケット」や、住民が講師として自分の得意を伝える「茶山台だいがく」の活動にも展開。

## 交流がよりどりみどり賞

**交流サロン「グリーンリーフ」 宮城県岩沼市**  
市民農園「楽農村」内のコンテナハウスで、近隣住民や町内外の人たちが、20人前後でお茶飲みもしながらおしゃべりを楽めます。皆で野菜づくりに励むほか、手芸・陶芸・英語学習などにも取り組んだり、世代も超えて、幅広いかたちの交流が育まれています。

## お知らせ

### 地域福祉マネジメント研究会 拡大セミナー サポセン、社協、市町村担当者、NPO等、大集合!

～被災地のサポートセンターから地域の支えあいサポートセンターへ～  
地域力(地域の福祉力)を培った宮城方式のサポセンを宮城の地域福祉推進に活かすことを展望し、研究会委員の討論を公開で行います。

日時：平成29年3月15日(水) 10:30~16:45  
会場：宮城県庁2階 講堂

〇問い合わせ・申込み先

宮城県サポートセンター支援事務所  
TEL：022-217-1617 FAX：022-217-1601  
メール：miyagisaposen@mbr.sphere.ne.jp

## 「S-1グランプリ」第4回いがす大賞

### 実行委員紹介

実行委員長	大坂 純	仙台白百合女子大学 人間学部 心理福祉学科 教授
実行委員	元持 幸子	特定非営利活動法人 つどい 事務局長
実行委員	鈴木 守幸	宮城県サポートセンター支援事務所 所長
実行委員	立岡 学	一般社団法人 パーソナルサポートセンター 理事
実行委員	川村 博	特定非営利活動法人 Jin 理事長
実行委員	池田 昌弘	特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長

### 事務局

小野寺 知子/田村 洋介/磯野 敏/木村 利浩/阿部 勇/石川 洋/若井 直樹/千葉 暢美/渡辺 歩美/佐藤 祥代/大場 綾/吉成 沙也佳/田中 義則/伊藤 友佑/佐々木 貴文/清野 哲史



「安心」をこの手で  
「やさしさ」を心から  
「その人らしさ」を大切に

## 高齢者事業所

特別養護老人ホーム若藤園  
特別養護老人ホーム桂葉  
若柳デイサービスセンター  
デイサービスセンター桂葉  
グループホーム藤の木  
グループホーム桂葉  
瀬峰高清水地域包括支援センター

## 障がい児（者）事業所

ふくし工房かつらっぱ  
放課後等デイサービスほたる  
障がい児多機能型事業所よしの  
障がい児多機能型事業所きぼう  
障がい児（者）相談支援事業所きぼう

## 社会福祉法人

# 豊明会

宮城県栗原市若柳武鎗字藤貫沢 8 5  
TEL:0228-32-3130 FAX:0228-32-4878

### 協賛 社会福祉法人 豊明会 / 公益財団法人 正光会

医療法人青楓会 あおば脳神経外科

宮城県サポートセンター支援事務所

一般社団法人 パーソナルサポートセンター

ご近所福祉クリエーション / 社会福祉法人 淡路市社会福祉協議会 /

NPO法人 にしはらたんぼぼハウス / 株式会社 コムメディア / 株式会社 オンワード・マエノ /

東武トップツアーズ株式会社 / ファン ライド シクロ ヤマグチ (株)自転車の山口屋

### 後援

復興庁 / 総務省 / 厚生労働省 東北厚生局 / 農林水産省 東北農政局 / 経済産業省 東北経済産業局 /  
国土交通省 東北地方整備局 / 環境省 東北地方環境事務所 / 岩手県 / 宮城県 / 福島県 / 仙台市 /  
社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会 / 社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 / 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 /  
社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会 / 岩手県教育委員会 / 宮城県教育委員会 / 福島県教育委員会 / 仙台市教育委員会 /  
毎日新聞社 / 朝日新聞 仙台総局 / 読売新聞 東北総局 / 産経新聞社 東北総局 / 日本経済新聞社 仙台支局 /  
共同通信社 仙台支社 / 時事通信社 仙台支社 / 株式会社 東海新報社 / 岩手日報社 / 河北新報社 / 石巻かほく /  
株式会社 石巻日日新聞社 / 福島民報社 / 福島民友新聞社 / 仙台放送局 / IBC岩手放送 / テレビ岩手 /  
めんこいテレビ / 岩手朝日テレビ / TBC東北放送 / 仙台放送 / ミヤギテレビ / KHB東日本放送 /  
福島テレビ / 福島中央テレビ / 株式会社 福島放送 / テレビユー福島 / エフエム岩手 / ラヂオもりおか /  
えふえむ花巻株式会社 / エフエム仙台 / ラジオ3 FM76.2 / fm1797 / BAY WAVE 78.1FM / H@!FM /  
ラジオ福島 / ふくしまFM / 福島コミュニティ放送FMポコ / 喜多方シティエフエム

### 【S-1グランプリ 第4回いがす大賞】実行委員会 事務局

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)

担当：清野哲史、田中義則、小野寺知子

〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F

TEL：022-727-8730 FAX：022-727-8737